



1830年代、スイスで作られた、オーケストラ・オルゴール「ボワ・セレステ（清人の音）」の作りも素晴らしいが、取り付けられたベル、ドラム、オルガンがもした音響は、まさにボワ・セレステが

博物館までつくってしまった

オルゴール・コレクター

文・写真 鴻野健太郎

人には、それぞれの仕事があるように、趣味の持ち方も様々である。趣味を通りこして、道楽の世界へと踏み込んでしまった人もいる。かと思えば、道楽なんてとんでもない、私は仕事に興味だ、というタイプの人もちよくちよく見つけられる。しかし、仕事に興味というのは、一見、仕事のみ生きるという情熱を感じさせるようである、実は仕事に対しても趣味に対してでも大変失礼な発言なのではないだろうか。仕事から得られる喜びと、趣味を通して得られる楽しみは、やはり質が違っているはずだから。